

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立中部西小学校

校長 西村 園子

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

中部西小学校の子どもたちの健やかな成長と願いを支えるために、保護者や地域のニーズを把握しながら、互いに協力しあって、対話と参加参画による特色ある学校づくりを推進することをねらいとしています。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ① 運営協議会会議運営について

本校では運営協議会の会議（学校参画委員会）を年間5回開催しています。そのうちの4回は拡大参画委員会として、民生委員や地域の各団体の代表者などを含めた約40名を加えて開催しており、グループ討議を行うなど、より多くの地域の方の意見を学校運営に反映できるように工夫しています。また、昨年度からは、5回のうちの1回を昼間に開催し、子どもたちの授業の様子を見ていただいたうえで意見をいただく機会をもつようにしました。

#### ② まちかど音楽会

本校の校区は古くから商店街として発展してきましたが、地域の方々の学校に対する愛着を強く感じる地域でもあります。そこで学校公開など、地域の方々を学校に招く取組を行っていますが、平成23年からは、子どもたちが地域に出かけるという発想で、「まちかど音楽会」と名付けた音楽会を、校区の特徴である商店街のアーケードの中で開催し、運営は、学校だけではなく地域からボランティアを募り、企画段階からご協力いただいています。本年度10回目を迎える予定でしたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

#### ③ 防災教室

今年度も自治会の協力を得て、5年生が防災教室にのぞみました。担架づくり、発電機の使い方、土嚢の作り方を体験したり、非常持ち出し袋の必要性について考えたりしました。日常的に防災に意識を持つことの大切さや、いっどこで災害に遭遇してもできることは何かを考える良い機会となりました。

本年度は、地域住民の意見を教育活動に反映し、外階段を使用した校舎屋上への避難訓練を実施し、津波対策の防災訓練を行いました。



防災学習(簡易担架の作り方・運

#### ④ 「中部西小学校の今と昔」

学校参画委員の方に来校していただき、3年生が本校の今と昔の様子について学習しました。前半は明治時代から現代までの本校の歴史を、写真や地図を使ってわかりやく説明していただきました。本校のシンボルである“むくの木”が3回も場所を変えながら大切にされていることがよくわかりました。

後半は本校の郷土資料室で昔懐かしい道具を実際に触って、道具の使い方を学ぶことができました。

本年度は、創立150周年記念行事に向けて、児童だけでなく、教職員も学校参画委員の方に、地域や学校の歴史について研修をしていただきました。

#### ⑤ 平和学習

老人会を中心とした地域の方々に、6年生が戦争体験についてお話を聞かせていただきます。本年度も計画し、老人会の代表の方と数回打ち合わせを行い進めていきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、残念ながら中止となりました。

#### ⑥ 「ふれあい！グラウンドゴルフ」

老人会の方々に来校していただき、2年生がグラウンドゴルフを体験しました。当日は、早朝より老人会の皆様に準備等ご協力いただきました。授業では、1時間目に学年そろって基本の打ち方を教えていただき、2時間目と3時間目には、それぞれ学級ごとに、子どもと老人会の方とゲームを楽しみました。子どもの上達ぶりには目を見張るものがあり、とても意欲的に取り組む姿が見られました。

#### ⑦ ふれあいパトロール

子どもたちの安全な下校、防犯の役目を果たすことや、声を掛け合うことで、子どもたちとより親しい関係を築き、コミュニケーション豊かな地域づくりにつなげることを目的としています。現在、約63名の地域の方にボランティアとして登録していただき、年6回、下校時の見守り活動を行っていただいています。

#### ⑧ 学校支援員

学校支援員として、授業、クラブ、委員会での学習支援員さんや、読み聞かせボランティアの方々に1年間お世話になりました。特に、家庭科などの実習で学習支援員さんに入っていただくことで、より安全に配慮した指導を進めることができ、たいへん助かりました。



#### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校評価における保護者アンケートの項目「保護者や地域の方々、ボランティアなどの協力を得た教育活動や体験活動の充実に努めている。」に96%の保護者から肯定的な評価

をいただきました。

本校の取り組みの大きな特徴である「参加参画型教育活動」においては、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模は縮小した形となりましたが、「防災教室」、「グラウンドゴルフ」、「中部西小学校の昔と今」等に地域の方の協力を得て、子どもたちにとって楽しく深まりのある学習を行うことができました。

このように学校行事をはじめ、日常の教育活動においても地域の方々の見守りと協力が欠かせないものとなっています。

### 3 今後に向けて

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束せず、臨時休校の期間が設けられたり、例年の行事が中止・縮小されたりしました。学校でも新しい生活様式が通常となり、今まで実施していたペアグループ学習に代わって、タブレットを利用した協働学習をすることが増えました。

そのような様子を、学校参画委員会でも参観していただきました。一人一台タブレットを自由に使いこなす児童を見て、「子どもたちがとても手慣れていることに驚いた。」と感想をいただきました。また、元気に生活している様子に、「コロナ禍の中でも子どもたちはとても明るく元気で安心した。」とか、「授業規律を守り前向きに学習する姿に、積極的に自己表現をする子が多くて感心した。」等、さまざまな観点からご意見をいただくことができました。

最後に、本校は来年度創立150周年を迎えます。その記念行事等に向けて、参画委員会を中心に実行委員会を立ち上げ、学校やPTAむくの木とも連携しながら計画を進めてきました。その中で、児童も地域の聞き取り学習や歴史学習に取り組みました。その一つ一つを通して、地域や学校に愛着を持ち、支えてくださっている方々へ感謝の気持ちを持つ子、自分や学校・地域に夢や目標を持つ子を育成したいと考えています。学校参画委員を中心に地域の方々が支えていただくことで、来年度のためだけでなく、未来へつなげる取組になっていくことを期待しています。今後も、地域・保護者と学校が一体となり、しなやかな心を持ち、主体的に行動できる児童を育む中部西小学校の在り方を探っていきます。

